

STAGE 13, "幻想の終焉" 1

話者	台詞 / ト書き
	■アクトマキア会場
イオン	なんということ…… アクトマキアが、オルタナステージが 崩れていきます、ユーザーさん。
ラザロ	わ、私の舞台が…… 私のオルタナステージが……。
オガミ	お前ら、会場から出るんだ！ ウィークAIが無差別に ACT使いを襲っている！
ラザロ	アナテマ？ アナテマはどこに行ったの？
オガミ	立て、ラザロ。 アナテマはもういない。 お前の夢は終わったんだ。
ムツキ	……ふん。 優勝パレードの演出、 というわけではないようだな。
	// ■画面暗転
オガミ	……よし。 ここであれば、少しは時間を稼げるか。
キョータロー	【ユーザー名】、 無事だったか！
イオン	おお、キョータロー。 テルミとミアラカは……。
テルミ	大丈夫。 あたしもエチカも、なんともないよ。
ミアラカ	私とココもですっ！ それより、いったいぜんたい なにがあったんですっ！？
キョータロー	あのアナテマってACTの声か 聞こえた途端にコレだ。 ワケわかんねーよ！
ムツキ	ワケはこの女に聞くんだな。 さあ、説明しろCTO。
ラザロ	……………。
ラザロ	アナテマは…… アナテマは、ただのACTじゃない。 あの子は、オルタナステージそのもの。
テルミ	オルタナステージそのもの……？ ただ、ボイスをシステムガイドに 使っただけじゃなかったの？
ラザロ	……違うわ。 あの子は、特別製……。
ラザロ	ヴァルナカウンターとも連動し、 オルタナステージのルールも、 自らの命令で改変できる——。

ラザロ	——レイヤードのサービスであれば、 どんなものとも同期できるし、 主要なセンサーも把握できるわ。
キョータロー	そっ……そんなの、 ACTどころか、レイヤードの 運営そのものじゃねーかよ！？
イオン	そのアナテマが勝手に、 『世界は終わる』と宣言した。 ただごとではありませんね。
ミアラカ	あなた、まさかそのアナテマを使って レイヤード社会を滅ぼそうとか 陰謀してたんじゃないか……！？
ラザロ	ち、違う。あの子はジョシュアを助けて レイヤードを盛り上げるため、 ただ、それだけのために生まれて——
ラザロ	——私が、アクシスレイヤーを使って 特異点を越えさせたACT。 あの子のやることは正しいのッ！
ムツキ	まだ言うか。 惚れた相手のためだか知らんが、 御しがたい愚か者だな、貴様は。
イオン	……！！ ユーザーさん、ウィークAIの 反応が近づいています！
オガミ	ここも嗅ぎ付けられたか。 どうも今のあいつらは、これまでの ウィークAIとはルールが違うらしい。
オガミ	もし負けたら、アカウントに紐づく あらゆるデータが損傷を受ける。 捕まれば、終わりだ。
テルミ	そ、そんなのって…… まるでエンフォーサーじゃ！？
システムガイド	——私の可愛い英雄。
イオン	私の可愛いヒロイン。 この声は——！
システムガイド	ここからが、本当の舞台。 真の意味で攪張された、 新しい娯楽の形。
システムガイド	レイヤードを極限まで 愉快地に盛り上げましょう。 この私——。
システムガイド	この、聖別機アナテマと共に。
オガミ	——来た、ウィークAIだ！ 戦うしかないぞ、お前達！

話者	台詞 / ト書き
	//ウィークAIとバトル
システムガイド	全く新しいオルタナステージが、 サービスインしました。 どうぞお楽しみください、みなさま。
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■ライブハウス
キョータロー	うおおおっ。 なんとか戻ってこられたー！
テルミ	た、ただ帰ってくるだけで こんなに疲れるなんてね。 マジなサバイバルじゃん……。
ミアラカ	緊張がほぐれかけてたところに これはキツいですね…………。
イオン	休んでいるヒマはありませんよ。 すぐにでも、状況を正確に 把握しなければいけません。
ムツキ	お前の言う通りだ、イオン。 さあ、話を続けろCTO。 ヤツの狙いを読め。
ラザロ	…………。
ムツキ	いつまで現実逃避を続ける気だ。 これは貴様が招いた現実。 向かい合って、言葉を紡げッ！
ラザロ	……レイヤードを盛り上げる。 きっと、アナテマの目的は 変わっていないわ……。
ラザロ	でも私が制御できない今は、 その定義が著しく、 歪んでいるんだと思う……。
イオン	アナテマが生まれた理由は、 ジョシュアを助けるため、 と言いましたね。
イオン	それでは今のアナテマの行動も、 ジョシュアに紐づいて——。
イオン	いえ、ジョシュアと ULA渋谷に紐づいている と考えるべきなのでは？
ラザロ	……そうかもしれないわ。 きっとそうね……。
ラザロ	アクトマキアの決勝。 そして、彼が求めたであろうACT—— 『ノア』の、ULA渋谷での覚醒。
ラザロ	アナテマはこのタイミングを待って…… いいえ、このタイミングが合うように 図っていたのかもしれないわ。
キョータロー	よくわかんねーが…… 表と裏が、最高に盛り上がる 瞬間を狙ってたってことか？
ミアラカ	ULA渋谷のほうは、 盛り上がるっていうか 大ピンチって感じですけど……。
ムツキ	注目を浴びられる、 という意味では同じだろう。 そこに善悪の規準がないだけだ。
ムツキ	まあ、だいたいわかった。 細かい事情は知らんが、 つまりはこういうことだ。

ムツキ	——ヤツは、このレイヤードが 派手に崩壊していくことを 至上の娯楽と考えている。
イオン	ふむ。そのように思えますね。 今はオルタナステージのルールが 壊れたのみですが……。
テルミ	充分でしょ。ウィークAIが 人間やACTを襲うなら、みんな、 気楽にACTを使えなくなるもん。
ミアラカ	そんな状態じゃ、マトモに レイヤードにアクセス できませんもんね……。
ラザロ	う……うう。 違う、こんなはずじゃない……。 こんなこと望んでない。
ラザロ	私は、ULA渋谷を…… ジョシュアが嫌う幻を消して、 楽しい世界を作る英雄を……。
	// 選択肢 A 泣きごとを言ってもはじまらない B このままでは終わらせない
選択肢A	泣きごとを言ってもはじまらない
イオン	そうですね、ユーザーさん。 絶望しても、世界は変化しません。
選択肢B	このままでは終わらせない
イオン	その通りです、ユーザーさん。 ジョシュアはともかく、楽しい世界を 諦めるのは、まだ早いかと。
合流	
ムツキ	うむ、後退などしてたまるか。 幸いここには、最強レベルの ACT使いが揃っている。
イオン	現実が減ぶというなら—— 抵抗しましょう、ユーザーさん。 ここは、あなたの世界ですから。

STAGE 13, "幻想の終焉"2

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 一駅周辺ー
テルミ	【ユーザー名】。 あっちはもう大丈夫みたい。 ウィークAIも黙らせたよ。
イオン	お疲れさまです、テルミ。 さすが、アクトマキアを 勝ち進んだ女子力ですね。
テルミ	やめてよイオン、 いいとこで負けちゃったし。 キョータローのほうはどう？
キョータロー	こっちはまだ落ち着いてた。 やっぱりオルタナステージが 流行ってたエリアがヤバいな……。
ムツキ	ご苦労。 街のパトロールも 板についてきたようだな。
キョータロー	なんでリーダー面してんすか？ あんたのほうはどうなんだよ？
ムツキ	私のほうも大したことはない。 汚染されたウィークAIが 多少面倒だっただけだ。
テルミ	大量発生したウィークAIを アイドルがひとりで殲滅、って SNSに書き込まれてるけど……。
イオン	おお、さすがはムツキ、 トップアイドルは違いますね。 ユーザーさんには及びませんが。
ムツキ	……私を称えたいのか、 【ユーザー名】を 称えたいのか、どちらだ。
イオン	ふふ、どちらもですよ。 優先順位は絶対必ず、 普遍的にユーザーさんですが。
ムツキ	ふん。相変わらずヒロインは、 主の単推しが許されるか。 アイドルとは在りかたが違うな。
キョータロー	なんの話だよ。 つか、ちょっと街の様子を 見て回るのもひと苦労だな。
テルミ	噂じゃ、エンフォーサーまで 暴走してるって話だよ。 いきなりアカ消された人もいるって。
イオン	エンフォーサー…… それは、今の私達では 対抗策がありませんね。
ムツキ	殺せるスキがあるなら、 私が殺して見せるがな。
キョータロー	人間やめてる人は黙っててください。 ちなみに、襲われるヤツらにも 傾向があるみてーだぞ？
イオン	積極的に、オルタナステージを 利用していたユーザーばかりが 狙われているみたいですね。
キョータロー	どうせ人前で消すなら、 強くて目立ってたヤツを 消すほうが盛り上がるからな。

テルミ	……ところで、ミアラカは？ もうとっくに集合時間 過ぎてるんだけど……。
ミアラカ	先生ー、みなさん、 遅れてごめんなさーい！
イオン	ミア、お疲れさまですー む！？ そのウィークAIの群れはいったい？
ミアラカ	引き寄せてたら、 いっぱい着いてきちゃいましたー！ ごめんなさーい！！
キョータロー	あのバカ……。 無茶すんなって言ったのに。
ムツキ	ちょうどいいさ。 我々でまとめて掃除してやるぞ、 【ユーザー名】。
イオン	む。しれっとユーザーさんの隣に 並ばないでください、ムツキ。 ヒロインはわたしです。
ムツキ	ダブルヒロインではまずいのか？
イオン	まずいです。 アイドルはアイドルの誇りを 失ってはいけません。
ミアラカ	と、トリプルヒロインも 悪くないですよっ！ 協力しあいませよー！

話者	台詞 / ト書き
	//ウィークAIとバトル
キョータロー	お前は4人目のヒロインに 名乗りでないのかよ、テルミ？
テルミ	……このタイミングでなに言ってんの？ 【ユーザー名】、 油断しないでね。
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 一駅周辺ー
イオン	ふむ。片付いたみたいですね、 ユーザーさん。 ミア、無事ですか？
ミアラカ	無事です～…… またしても、 ご迷惑をおかけしました……。
テルミ	どーせ通りがかりに襲われてたヒト、 全員見捨てられなかったんでしょ。 ミアラカのことだもん。
イオン	はい、ミアのことですからね。 ミアラカ、そういうときは すぐにユーザーさんと呼ぶんですよ？
ミアラカ	はあい…… 直情径行な靈感少女で 申し訳ないです……。
ムツキ	ふん……【ユーザー名】、 貴様の周りにはお人好しな 表現者が集うようだな。
ムツキ	だが、お人好しなだけでは なにも変わらぬようだぞ。 ウィークAIは無限にわいてくる。
イオン	ですね、ムツキ。 アナテマの真意を確かめなければ、 状況は動かないようです。
テルミ	けど、ラザロもアナテマが どこにいるかわかんないんでしょ。 手の打ちようがないじゃん。
ミアラカ	ジョシュアさんが見つければ なんとかなるかと思いましたが、 どこにもいませんねー。
キョータロー	手がかりでも見つかるかと思って 街を回ってたが…… なにも見つからないな。
テルミ	そもそも、そのジョシュアってのが ラザロとなにをしてたのかも、 あたしらはよく知らないしね。
ミアラカ	こんなんじゃ消費するだけです……。 みんな、デリートを怖がって 表に出てこないし……。
イオン	ふむ。一度戻って、 対策を練り直しますか—— ——お？
	//メッセージの着信音
ミアラカ	どしました？ この大パニック状態で トラブルシューター依頼です？
イオン	当たりです、ミア。 音声データも添付されていますので、 再生しますね。
カツマの声	【ユーザー名】、 イオン……久しぶり。
カツマの声	突然で悪いんだけど。 ……僕らを助けてほしい。

STAGE 13, "幻想の終焉"3

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 一街中ー
イオン	呼び出されたポイントは こちらのはずですが……。 カツマはいませんね、ユーザーさん。
ムツキ	本当にここなのか？ 騙されたのではあるまいな。
キョータロー	身内騙すようなヤツじゃねえよ。 つーか付き合いいいよな、あんたも。 群れるの嫌いそうだけだ。
ムツキ	群れているのではない。 ファン心理を読んで、 適切な行動を選んでいただけだ。
ミアラカ	……素直じゃない人が増えましたねえ。 ん……。？ 先生、あそこに立っているのは……。
レイチェル	やあ、また会えたね。 【ユーザー名】。
テルミ	……レイチェル？ ULA渋谷のレイチェルじゃん。
イオン	なぜレイチェルがここに……。 すみませーん、 カツマを見かけませんでしたか？
レイチェル	AIなのに鈍いなあ、イオン。 ホントはとっくに気づかれてると 思ってたのに。
レイチェル	……レイヤードメイク、解除して。 私のジェイコブ。
ジェイコブ	了解だよ、レイチェル。
イオン	んむ、ジェイコブ？
イオン	……おお！？
カツマ	……と、言うわけ。 黙っててごめんね、 【ユーザー名】。
テルミ	はあ……。！？ れ、レイチェルが、カツマ！？
キョータロー	いや、カツマがレイチェル……。！？ 入れ替わってる——のは違うか。 ど、どういことだっ！？
ミアラカ	か、解除って言いましたよね？ じゃあ、こっちの姿が、 レイチェルさんの……。！？
カツマ	本当の姿——なんて言いかたは したくないし、違うけどね。 『飾ってない』僕はコレだよ。
ムツキ	……………。

キョータロー	おいアイドル王。 王道スマイル固まってんぞ。
ムツキ	……審議しよう。 貴様ら、アリだと思うか。
テルミ	え、えーと…… ちょっとビックリしたけど、 カツマなら納得するっていうか。
ミアラカ	た、魂の形に決まりはないですし。 別にひとりでふたつ持っても、 ミア的には否定しません！
イオン	ミアと同じです。 彼……彼女？ が良しとするなら、 否定する理由はありません。
ムツキ	よし、全然アリだ。 たった今アリということになった。 喜べ、どちらでもある者よ！
キョータロー	……だってよ、カツマ。 レイチェルのほうがいいのか？
カツマ	今はカツマでいいよ。 ……あはは。結構勇気出したのに、 すぐ受け入れてくれるんだね。
カツマ	【ユーザー名】も…… 引いちゃってない？
	// 選択肢 A 全然 B びっくりしただけだよ
選択肢A	全然
カツマ	そっか……えへへ。 面と向かってそう言われると、 やっぱり嬉しいな。
選択肢B	びっくりしただけだよ
カツマ	あはは……驚かせてごめん。 僕のキャラ切り換えも、 なかなかの腕前でしょ？
合流	
カツマ	他はともかく、 君には引かれたくなくてさ…… 今まで言い出せなかったんだ。
カツマ	僕は昔から可愛いものが好きだった。 周りになにを言われても、 可愛い自分になりたかった。
カツマ	あそこは……ULA渋谷だけは、 そんな僕の生きかたを 受け入れてくれたんだ。
ミアラカ	……こんな社会になっても、 まだまだ思想と性差の壁は 崩れきってないですからねー。
カツマ	うん。人はまだまだ、 狭い『健全』の定義から はみ出たものを許容しない。
カツマ	『今』をやり過ごすための場所が 必要な人間は、他にもいる。 フルサワが、そうだったようにね。
イオン	ふむ……そのULA渋谷が、 大変な状態にあるようですが。
カツマ	うん。もうあそこは隠せない。 だから僕も先に、みんなの前で こっちの僕を見せようと思った。
カツマ	【ユーザー名】。 君なら、こちらの僕も——。
レイチェル	——こっちの私も。 あるがままの、裸の私を、 受け入れてくれそうな気がしたんだ。

テルミ	ちよつ……その台詞、 そのカッコで言うのマズくない！？
レイチェル	えへへ、ごめんごめん。 いっぺんやってみたかったんだ。
レイチェル	でも、ただあられもない私を 見せつけたかったわけじゃないよ。
カツマ	【ユーザー名】…… 他に頼れる人がいないんだ。 どうか、僕達の居場所を……。
セナ	おっと。 その依頼を出させるわけには いかないよ。
テルミ	ん？ 君は確か……。
イオン	セナ。 ユーザーさんがアクトマキア初戦で 破った、セナですね。
セナ	覚えてくれたんだ。 まあ、忘れてくれてもいいよ。 記憶されても迷惑だし——
セナ	どうせお兄さんどもは、 僕とアナテマの力で、 消されるんだからさあッ！

話者	台詞 / ト書き
	//セナ&ライトとバトル
セナ	レイヤードの負け犬どもが。 群れてりゃ誰にでも勝てると 思っじゃねーぞッ!
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
セナ	ちっ……多勢に無勢か。 さすが人生の勝ち組だね、 人がたくさん集まるみたいじゃん。
セナ	……ずるいよ、お兄さん。 子どもの未来を奪ってまで、 その名声が欲しかったの？
セナ	もう誰も、僕に期待しない。 僕のスポンサーになってくれた 人達も、みんないなくなったよ。
イオン	セナ……。
セナ	どうせなにも残らないなら…… せめて、お兄さんだけは、 絶対に僕の手で倒してみせる。
セナ	待っててよ、お兄さん。 敗者がどれだけミジメか、 どんな手を使っても教えてやるから。
	//セナ退場
テルミ	……………。
イオン	ふむ……セナは、 アナテマの名前を出しましたね、 ユーザーさん。
キョータロー	アナテマの力を借りた、 みて一なこと言ってたな……。 そんなことが可能なのか？
ムツキ	その話はあとだ。 この場所も危険ならば、 さっさと依頼を受けてしまえ。
カツマ	……ありがとう、ムツキ。 僕が最高に可愛いと思った アイドルなだけはある。
ムツキ	構わん、可愛いは正義だ。 よって可愛いものは、 男であっても嘘をつかない。
カツマ	……はは。 それじゃあ、嘘偽りない本音で お願いさせてもらおうよ。
カツマ	【ユーザー名】。 今、ULA渋谷はとっても 危険な状態にある。
カツマ	ヴェールが剥がされ、世間に晒され。 いつ、エンフォーサーに襲われて 全滅しても、おかしくない状態だ。
イオン	ふむ……そうみたいですね。 ブレロマから、 お話は聞いております。
カツマ	ブレロマ……？ その人は知らないけど、 まずいのは確かなんだ。
カツマ	みんなが参加していたアクトマキア。 そして、オルタナステージの混乱の おかげで、今は小康状態だけど……。
テルミ	世間の目は、いつULA渋谷に フルなヘイトを向けるともしれない。 そーゆうことだね。

カツマ	僕たちのリーダー、ユウトはエンフォーサーへの対抗策を持つてる。でもそれだけじゃ、足りないんだ。
カツマ	僕らだけじゃ——。ずっと守ってもらってた僕らだけじゃ、ULA渋谷は守りきれない。
カツマ	ムシがいいのはわかってる。みんなの状況も知ってる。でも、他に手立てがないんだ。
カツマ	お願いだよ、【ユーザー名】…… ULA渋谷に、力を貸してくれ。
	//選択肢 A もちろん協力するよ B 友達の頼みなら
選択肢A	もちろん協力するよ
イオン	断るわけがありません。ね、ユーザーさん。
選択肢B	友達の頼みなら
イオン	ふふ。そうですね、ユーザーさん。ここはカツマに、これまでのお返しをするチャンスです。
合流	
キョータロー	……お前らには、恩がたっぷりあるからな。
テルミ	だね。表とか裏とか、言ってる場合じゃないっぽいし。
ミアラカ	ここで協力しとかないと、レイヤードがなくなっちゃいそうな気がしますもんねえ。
ムツキ	……………ふん。そう簡単に、わかりあえるとは思えないがな。
カツマ	ありがとう、みんな。準備ができれば、ULA渋谷に来てほしい。そこで——。
レイチェル	そこでいっぱいサービスするからね、【ユーザー名】。 チュっ♪
ミアラカ	イオンさん。カツマ=レイチェル問題、審議の継続を提案します。
イオン	異義ありません。

STAGE 13, "幻想の終焉" 4

話者	台詞 / ト書き
	■ライブハウス
キョータロー	さーで……ULA渋谷を 助けるのはヤブサカじゃねーけど、 とはいえ策がねーよな。
テルミ	オルタナスステージのことも どうしようもないってのに、 どうすればいいんだろーね。
イオン	無策ではありますが、 切り口はあります。 ね、ユーザーさん。
ミアラカ	切り口……？ そんな便利な傷なんて、 ありましたっけ？
イオン	それは、このかたが 説明してくれます。 どうぞ、こちらに。
ラザロ	……………。
ムツキ	貴様は、新垣ラザロ…… よくもまたおめおめと、 私達の前に現れたな。
オガミ	天渡ムツキ。 ラザロの敵になりたければ、 この俺が相手になろう。
ムツキ	貴様は例の『最古参』か。 面白い—— ここで特別試合としゃれこむか。
テルミ	ストップストップ。 揉めてる場合じゃないってば。
イオン	そうですね、ムツキ。 ここは建設的に、 状況を打破しなければ。
ラザロ	……悪いけど。 アナテマとエンフォーサーに 対抗できる手段なんてないわ。
ラザロ	アナテマが司るアクシスレイヤーは、 管理者権限のレイヤー。 今の私では、干渉する術がないの。
キョータロー	あ一言っておられますよ、イオンさん？
イオン	いいえ。 方法がないわけではない—— はずですよラザロ。
イオン	あなたがユーザーさんに 託そうとした、ヴァルナコンバーター。 あれはまだ、あなたの手にあるはず。
ラザロ	あんなものを、 今さらどう使おうと言うの？
イオン	使い道を探すんです、ラザロ。 キョータロー、テルミ、 ミアラカ、ムツキ——。
イオン	ここにはUNPL以上の 『評価』を集められる者が 集っているでしょう？

ラザロ	……それが、なんだと？ あなた達は、ジョシュアのための 手駒に過ぎなかったのよ。
イオン	わたし達は、評価をUNPLに変換する ことなど、求めています。 ユーザーさん達が示した姿勢——。
イオン	——ユーザーさん達のような。 『強くありながら、他人を認められる』 ことを証明できる、システムがあれば。
ラザロ	あなた、まさか…… ヴァルナコンバーターを、 カスタマイズしようというの……？
ミアラカ	ほほー。UNPLを生むシステムを、 別のシステムに書き換える、 ということですね、イオンさん！
ラザロ	甘い考えね。 アナテマがない今、 私だけではそれも不可能よ。
イオン	それならば、せめてそれを ULA渋谷に託しましょう。
ラザロ	な、なんですって……！？ ジョシュアのために作ったシステムを ULA渋谷に渡せと言うの！
キョータロー	あっちには、腕のあるエンジニアが いるみてーだからな。 それも手じゃねえのか？
テルミ	うん。あそこなら、 アナテマに対抗できる力だって 生み出せるかもしれない。
ラザロ	……………。 そんな決断、私には……。
オガミ	悪くない提案だ、ラザロ。 俺達にはもうオルタナステージすら 守れない。
ラザロ	オガミ…… ただのボディガードが、 口を挿まないで。
オガミ	では、幼なじみとして言う。 消えた男への幻想は捨てるときだ。 あとはこいつらに任せよう。
オガミ	……任せてやってくれ。 頼む。
ラザロ	そろそろ、前を向いてくれ……。
ラザロ	……………。 ……………わかったわ。 どこまでも私は、 夢が叶わない女ということね……。
ラザロ	【ユーザー名】。 あなたに、託すわ。 私のステージを救ってみせて……。
選択肢A	// 選択肢 A 任せてほしい B 頑張ってみる 任せてほしい
イオン	承りました、ラザロ。 あなたの娯楽が生み出した、 真の英雄を信じてください。
選択肢B	頑張ってみる
イオン 合流	わたしも頑張りますので。 ラザロ、あなたもどうか、 希望だけは失わずに。
ラザロ	ええ……信じるわ。 信じるから……お願いね。
	■ULA渋谷付近

キョータロー	この辺も久しぶりだな…… つっても、実際にULA渋谷に 入ったことはないけどよ。
ミアラカ	いつも近くて遠い、 だけど重ならない場所でしたね。 まるで物質界とアストラル界のように。
イオン	ふむ。予想通りではありますが、 ウィークAIが大量発生していますね。
テルミ	アナテマの息がかかったヤツだね。 ……街のレイヤードも、 ボロボロにされてる。
キョータロー	ここまで危うい状況とはな……。 このままじゃ、渋谷が全部 こうなっちゃうのか？
イオン	それを止めるために、 英雄がいるのです。 進みますよ、ユーザーさん！
ムツキ	ふんっ。 無粋な観客だが、 サービスは全開でいくぞ。

話者	台詞 / ト書き
	//ウィークAIとバトル
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■ULA渋谷付近
イオン	ふむ、一掃できましたか。 しばらくは落ち着いてくれると いいのですが……。
コウヘイ	やあ、【ユーザー名】。 本当に来てくれたんだな。
キョータロー	コウヘイ！ 無事だったかよ、同志！
コウヘイ	ギリギリだけどね、同志。
ムツキ	ぬ……？ 戦友よ、ヤツらは なんの同志なのだ？
テルミ	えーとね、アイドルの口から 発信しちゃいけないワード。
ムツキ	なるほど童貞か。
テルミ	わかってんなら言うなし！
コウヘイ	レイチェル、出てきていいぞ。
レイチェル	う、うん。みんな、 【ユーザー名】 ありがとう……。
ミアラカ	おっ、カツマさんだ！ ご無事の様子ですねー！
キョータロー	あの状態のあいつを カツマって呼ぶのは、 さすがに抵抗あるな……。
コウヘイ	レイチェル、もっと前に出ろよ。 声が届かないだろ。
レイチェル	えへへ…… なんだか、全部見せたあとだから 急に恥ずかしくなっちゃって。
コウヘイ	……どうということ？ え、あれ？ なんか僕の聞いている話と違ったり！？
キョータロー	……このくだり、面倒くせーから 早くULA渋谷に案内してくれー。

STAGE 13, "幻想の終焉"5

話者	台詞 / ト書き
	■ULA渋谷
レイチェル	どうぞどうぞ、こちらです。 【ユーザー名】ご一行、 ご案内します。
イオン	はい、お邪魔します。 ……おお！？
ミアラカ	うひゃー！？ 本当に、学校が丸ごと 隠されてたんですか！
テルミ	ここが、ULA渋谷……！
レイチェル	えへへ、今は一部しか 使えてないけどね。
コウヘイ	大変だったんだよ。 人は集まってくるし 隠し撮りされるし……。
イオン	ユウトはどこにいったのですか？ 彼がULA渋谷を守っていたのでは？
コウヘイ	守ってはいるし、今も駆け回ってるよ。 前みたいに、とはいかないけどね。
ミアラカ	私達がアクトマキアに出ている間、 メチャクチャになってた そーですもんね……。
クレア	今はオルタナステージの 混乱が目目されている。 これでも落ち着いているほうよ。
キョータロー	クレア姫！？ 連絡がないと思ってたら、 ULA渋谷にいたのかよ？
クレア	お疲れさま、トラブルシューターくん。 やむにやまれぬ事情が発生したの。 当然の流れとも言えるかしら。
クレア	けれども、いつまた世間の悪意が ここに向けられるとも限らない。 あまり猶予はないわね。
ムツキ	ふん。その悪意を避けるための手段を すぐにでも見つけなければ 危険だということか、クレアP。
クレア	……天渡ムツキ。 ステージは見たことがあるけれど、 会うのはこれがはじめてね。
ムツキ	挨拶などどうでもいい。 貴様らは、このマイノリティの 逃げ場を失いたくないのだろう。
イオン	ふむ…… ユウトやみなさんだけでは、 対処しきれないのですね。
レイチェル	うん……。 助けたくても、助けられない。 そんな感じなの。
コウヘイ	そして、選択権もない。 多少の時間稼ぎはできても、 僕達じゃ決定打にかけるんだ。

コウヘイ	せめて手がかりぐらい 見つければ、突破口を 開けそうなんだけど……。
??	……やっとな暴けた。 今度は俺が、お前らを……！
テルミ	だ、誰……！？
コウヘイ	お前は確か…… タクマがデリートされかけたときに、 ユウトとシンジがやっつけた？
カズ	カズだよ……思い出せ。 お前らのせいで、アカウントが 消されちまった男だ。
カズ	俺があれから、どれだけ ミジメに、心細く過ごしたか！ お前らにわかるか……！？
レイチェル	そんなの自業自得じゃん。 ただのストーカーのくせに。
カズ	もうただのストーカーじゃねえ。 オルタナステージのアカウントを、 あのかたが復活させてくれたからな。
イオン	あのかた……？
カズ	ひ、ヒヒヒッ。 もう俺は自由だ。 俺はやりたいことだけをやるぞ！
キョータロー	こいつ、アーダル症候群か……！？ つかここも隠しレイヤーなんだから、 どうやって入ってきやがった！
アナテマの声	ヴェールシステムは、 一時的に私が中和しました。 私の可愛いヒロイン達。
ミアラカ	この声は、システムガイド…… いや、アナテマですわね！
イオン	アナテマ、あなたはラザロに従う オルタナステージ運営ACTのはず。 なんのためにこんなことを？
アナテマの声	なんのため？ この世界は、エンタメでしょう。 面白くなくては意味がありません。
アナテマの声	あなた達は、なんでもアリを望んだ。 現実と幻想の間を埋めたかった。 だから私がオルタナステージを作った。
アナテマの声	世界は攪拌されて、拡がっていく。 攪張現実<レイヤード>のエンタメに、 命を委ねて——全力で楽しむべきです。
イオン	ウィークAIが人を襲わせ、 人々はマイノリティを殺す。 それは娯楽ではなく呪いでしょう。
アナテマの声	呪いと娯楽は同根ですよ、 私の可愛いヒロイン。 それに気づかぬあなたではないはず。
アナテマの声	未来を肯定するにせよ、 否定するにせよ—— あなた達は戦うしかないので。
アナテマの声	さあ、戦ってくださいカズ様。 彼と戦って、私の知性を熱く熱く 刺激してくださいませ。
カズ	わかってるよ、俺の主サマ。 この戦いを皮切りに、 俺の人生を取り戻すぜ……。
カズ	ストリングスッ！ 今度は俺の女として、 俺を助ける！
ストリングスGA	はあい、ユーザー様。 全部奪ってしまいましょ、 しししっ♪

話者	台詞 / ト書き
	//カズ&ストリングスGAとバトル
カズ	俺のものにならないやつは、 いらねーんだ。 消していいんだよなあ、ストリングス！
ストリングスGA	いいんだよ、ユーザー様っ。 消しちゃお、消しちゃお！
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■ ULA 渋谷
カズ	うあああっ！？ また俺のほうか負けんのかよお！
アナテマの声	残念ですねえ、カズ。 またデリートからやりなおしましょう。 それが下っぱザコの運命です。
カズ	あ、アナテマ様！ 待ってくれ、じ、慈悲をくれよお……。
キョータロー	……衰れなヤツ。 何度も同じアヤマチを 繰り返してんのか。
シンジ	あれー？ 俺の出番ねーのかよー？
カズ	お、お前は…… うわあああッ！
ミアラカ	んぎゃー！？ あのときの凶暴な人ですよ、先生っ！
イオン	おお、シンジ。 お久しぶりです。
シンジ	よー【ユーザー名】。 髪切った？ また相手してくれんの？
ムツキ	ふん…… 今度は貴様か、シンジ。
キョータロー	こいつとも知り合いなのかよ？ 顔広いな、アイドル王。
ムツキ	知らん。私は強さだけを求めて、 表に出て来ない者には 興味がないのでな。
シンジ	俺だって、自分の強さ試すより エンタメ貫く女になんて 興味ねーんで。
キョータロー	犬猿の仲みたいだな。 なんかあったのかね……。
テルミ	強さのベクトルが違うみたいだね。 てゆーか、他人の再会観察してる 場合じゃないでしょ、あたしら。
イオン	そうでしたね、テルミ。 ……ユーザーさん。 彼らにアレを渡しましょう。
コウヘイ	アレ……？
	■ 暗転
コウヘイ	ヴァルナコンバーター……！？ それが、オルタナステージの 優勝賞品だったのか！

イオン	託すなら、他にいないかと。 わたし達の身内には、 エンジニアがおりませんから。
コウヘイ	これをカスタマイズできたら、 面白……じゃなくて、なにか 対抗策を作れるかもしれない……！
テルミ	クレア姫ほどの人間がいるなら、 なんとでもなるでしょ？ 無駄にしたら許さないけど。
クレア	愚問ね。材料があるのなら、 私はどんなレイヤードでも 作り出してみせるわ。
ミアラカ	……………。
ミアラカ	先生。 イオンさん。 私もここに残っていいですか？
イオン	……んむ？
ミアラカ	私、藤沼教授の資料も論文も 熟読しましたしっ。 なにかお手伝いできそかなって。
レイチェル	……ミアラカちゃん。 今こっちの側に居座るのが どういうことかわかってる？
ミアラカ	ここにいたら、世間に軽蔑されて デリートされちゃうってことですか？ そんなの、今さら怖くないです。
ミアラカ	それに——それに、私も。 好きに生きていたい誰かの、 助けになりたいですから。
レイチェル	ミアラカちゃん……。
コウヘイ	……わかった。 【ユーザー名】。 この子はこっちで預かる。
シンジ	ふーん、 そっちも物好きが集まってんな。 ユウトの周りみてー。
ムツキ	貴様が言うな、 アウトレイジネコ娘め。
シンジ	っせーな、バイオレンスアイドル。 ここで決着つけとく？
イオン	どうどう。 決着はいずれ、この王道ヒロインも 交えてつけることにしましょう。
イオン	クレア姫。 ユーザーさんの、勝利の証—— お任せして、よろしいですね。
クレア	使わせてもらうわ。 一度ぐらい、あなた達からの 依頼を受諾するのも悪くない。
ムツキ	急げよ、凡愚ども。 表舞台は私達が守ってやる。
テルミ	ちょっと、こんな状況なんだから 言葉選びなって、ムツキ。
ムツキ	甘いぞ、我が戦友。 社会の裏側でくすぶる弱者気取りの 若者気分どもを氣遣う必要などない。
ムツキ	せいぜい、力を入れて 表と裏がウインウインになれるモノを 作ってみせる！ 以上！
クレア	そちらこそ、無駄死にしないように。 以上。
キョータロー	あーあ、団結しなきゃってときなのに、 なんでこうどいつもこいつも ケンカ腰なのかね。
イオン	ふふ。 それも表現者らしいかと思えますよ。 ね、ユーザーさん。

イオン	表と裏の渋谷にとって よりよいシステムが生まれると—— わたし達も、信じてみましょうか。
-----	--